

私に友達がいないと思われてる件

月宮如月

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

個人V t u b e rであるエミリー先生のチャンネル「エミリーの
げーむちやんねる」

での動画をネタにしたものです。

切り抜き動画ならぬ切り抜き小説？

気が向いたら書こうと思います。

あと、エミリー先生天然かわいい。

目次

私に友達がいないと思われる件	1
ファイル01	5
ファイル02	9

私に友達がいらないと思われてる件

私はV t u b e rをやっている。

最近は登録者数も増えてきて収益化もできるようになり順調だ。

しかし、私がVをやっていることは妹と弟しか知らない。そして最近、妹とばかりゲームをやっているからか妙な誤解ができてしまった。

「いもーとよ！話がある！」

「どうしたの？お姉ちゃん」

私は妹の部屋に突撃した。妹のことは配信中の話にもよく取り上げていて妹のファンも出る人気ぶりだ。『いもーとさんへ』とスパチャを投げられるほどで、声出しNGだが何度か一緒に配信もしたのだ。

配信の度に肩パンされるけどね！

「いもーとよ、マミーに変なこと言ったでしょ！」

「変なこと？ああ、「お姉ちゃんに友達がいなくてかわいそうだよね」ってお母さんに言ったこと？」

「そーだよー！おかげでマミーがずっと私のこと構ってくるじゃん！」

「え？でもお姉ちゃん、最近ゲームするとき私ばかり呼ぶからってつきり友達がいらないのかと」

「いるもん！ほら、ここに千人以上も！」

「そう言い、私はスマホの画面を見せる。そこには登録者数が記載されている。」

「視聴者は友達って言っているの？」

「いいの！視聴者も友達！」

「・・・お姉ちゃんは友達が少ない」

「は○ない!?!は○なくないよ！」

「そうだね、お姉ちゃんには友達がいるもんね。イマジナリーフレンドが・・・」

「ちよつとー！それじゃあ私が危ない人みたいじゃん！」

「間違つて無くない？V t u b e r やつてるって知らなかったらゲームで奇声を上げて画面とお話してるって……。うん、やつぱりお姉ちゃん変だよ」

私は激怒した。このツンしかない妹をデレさせなければ！と。

あ、でも友達はいるんですよ？ほら、今はこんな時期じゃん？気軽に遊びに行けないから家の中でゲーム、ゲームしてるだけであつて断じて友達がいないわけではない！

「ねえ、きいてー。今日、いもーとが私に友達がいないってことをマミーに話したみたいでマミーがずっとかまちょなんだけどー」

私は今日の出来事を配信で話した。しかし、視聴者のみなさんは……。

「しられてしまったか」

「ばれたね」

「国家機密に触れてしまったか」

「知られてしまったってどうゆうことだよ！マミーはかわいいそうってずっとかまちょかまちょ……。私のことは放っておいてください！」

「ママさんコラボ決定かな？」

「かわいいそうw」

「かわいいそうだな」

「ママさん、コラボ決定しません！かわいいそう、かわいいそうってヤメテ！と、友達ぐらいいるもん！」

「リスナーのみんながいる」

「ズツ友だよ」

「友達と話すぐらいできるでしょ」

「そうだよね！リスナーのみんながいるよね！後、友達はゲーム友達がいないから妹と遊ぶだけであつて一般ピーぼーはいるもん！」

みんなかわいいそうって……。どうや視聴者も私に友達がいないと思ひ込んでるようだ。

まあずっとゲーム三昧な私だからそう思われても仕方ないの？

でも、視聴者さんがいるから寂しくない！

さて、配信を終えて再び妹の部屋に突撃する。

「ほら！視聴者のみんなも友達って言ってくれたよ！なんと、石油王（笑）もいるんだよ！」

「ふーん、視聴者さんやさしいね。こんなお姉ちゃんを友達って言ってくれるなんて」

「どうゆうことだ、いもーとよ！お姉ちゃんだって頑張ってるんだぞ！」

相変わらずの塩対応の妹だ。

「ところで、いもーとよ。また配信で一緒にゲームをやつてh・・・」

「ヤダ」

「即答!?おねがーい！一緒にやつてよー。リスナーのみんなもしてほしいっていつていつてるの！」

私は両手をスリスリさせて、おねがい！と、言ってみるが妹はきっぱりとヤダとしか言わない。

おねーちゃんのスリスリ攻撃！

しかし、いもーとさんには効かないようだ

「あんまりしつこいとお母さんに最近、お姉ちゃんが画面とばかり話してるっていうよ?」

「ヤメテー！また、マミーに変な目でみられるから！」

「じゃあ、アーク○イツでス○トが出たら一緒にガチャ引いてあげる」

「やったー！ありがとー！」

「お姉ちゃんと引くと運が全部私に来るんだよね。また前回のガチャコラボみたいな結果期待してるからよろしくね」

「ええ!?それじゃ、私また爆死するの!?!」

「大丈夫だよ、V t u b e rなんてガチャで爆死してなんぼのもんでしょ?」

「違うよ!」

さて、問題です。猫耳をピクピクと動かし、ピンク色のペンキを頭から被ったような髪をしているスパチャの度に悲鳴を上げ咽喉を痛めた天然さんは誰でしょう?そう――

「わたし・・・違うよ!?! 私、天然じゃないよ!?!」
いいえ、あなたです。

ファイル01

「はい、こんばんわー私のゲームチャンネルへようこそー！今日は妹とコラボしまーす！」

今日はアーク○イツのガチャ配信を妹とやることになった。私と妹の最押しキャラのファントムが出たからです！。妹は声NGだがすぐ隣でさつきから笑っているので声が入らないか心配です。

配信画面には私と妹の2画面、そして私と私の2Pカラーの妹が映っている。明るい色メインの方が私で、落ち着いた色合いの方が妹です。

「妹さんめっちゃ動いとるwww」

「きゃー妹さん！いつもお姉さんには大変お世話になってます！」

「妹さんマジ清楚」

「今日はもうマジで緊張していてーギャアアーツ!!」

「?10000 微かに妹さんの声が聞こえます。二人とも可愛いです代」

唐突に投げられたスパチャに悲鳴を上げてしまい隣では妹さんも声を殺して笑っている。

未だに投げられるスパチャに耐性が付かず悲鳴をあげてしまった。「では、気を取り直して点呼とりまーす！」

いつものように来てくださった視聴者のみなさんの名前を読み上げていくが……。

「?5000 妹さん出演ありがとうございます代」

「?100000 ファントム祈願代」

「あぁー！ちよつと待って！ちよつとタイム、タイム！」

「?30000 お二人ともファントム引けることを祈ってます」

「?100000 ファントム祈願代（妹さんへ）」

「?5000 タイム」

私のタイム発言など関係ない！と言わんばかりにスパチャを投げてくるリスナー。

配信初めて5分も立ってないのに腹筋崩壊しそうなんだけど！

お茶を飲んで落ち着いて点呼とらせてー！と呼びかけるがスパチャの勢いが止まらない。妹は隣で大爆笑してるし私の喉は既にガビガビよ。

「さっそく紹介していきます。私のいもーとでーす！妹は声NGと言ってるので代わりにチャットのコメント欄に書き込むそうです。では妹さん一言」

「妹：こんばんわー」

「あはは！え？それだけ!？」

「妹：いつもありがとう！」

「それじゃやっていきましよう！今日は待ちに待ったフアントムガチャ!!」

紹介で10分も使ってしまったが漸く始められる。ガチャは交互に引くことにして、さあガチャ回すぞ！と思った瞬間。

「?10000 そろそろタイム終わりでいいですか？」

もうスパチャやめて！

まず、私からガチャを引いていくことになり、妹に「これでフアントム来たらごめんね！」という無言で肩パンをしてくる。痛い、痛いよー！

10連を回すが星6演出ではない。それを見て妹さんはめっちゃ笑顔だ。

しかし、ピックアップのシヤマレとカッターが出た！妹が再び肩パンを繰り出す！お姉ちゃんに大ダメージだ！

「いったーい！めっちゃ痛い！グーパンやめて！」

「おめでとうー」

「リアル攻撃!？」

「殴り音聞こえて草」

今度は妹の番。妹は無課金で今日の日のために石を貯めてきて150連分はできるそう。ちなみに妹はこの日のために有給をとったそう。フアントムへの愛が凄い……。妹はコメントで「いきまーす！」と記入しガチャを回した。

結果はピックアップキャラが1体も出ない結果。そして私に肩パ

ンをしてくる。

ヒドイ……。

20、30連と引いてくが沼ってきてる。互いに青く光り大喜びの状況だ。

「色が薄いw」

「妹さんうれしそう」

「接戦で草」

妹が30連目を引くと中から虹の光が!?

「ヤバい、ヤバい!?!これ来たか!?!」

―フロントム、闇夜を彷徨う幽霊―

「キター!」

妹が先にフロントムを引き当ててあまりの嬉しさに妹が「やった!」と声を出した。

「?500 いもーとさんの勝ち!」

「?1000 おめでとーございます!」

「?1220 続いてもらて」

妹にガチャどうする?と聞くと「シヤマレ出るまで回す」コメントをした。妹と密着しながら配信しているせいかな熱くなってきたから「パーカーを脱いでくるね」と言うと

「またスパチャで脱いどる」

「やっぱリスパチャで脱ぐじゃないか」

「また脱いでしまうのか」

「違うよ!?!そうゆうわけじゃないよ!?!」

妹の後に続くように40連目を引くと虹色の光が出た!これは来たんじゃないか!?!

「サリア……?」

「サリア!サリア!」

「サリアかな?」

サリア言うな!なんで皆そんなにサリア言うの!?!もうサリアとシルバーアツシユは完凸してるんだよ!

―フロントム、闇夜を彷徨う幽霊―

「やったー！私にもフアントムきたー！」

いつもは沼って100連ぐらい回しているが40連目でキャラが揃い珍しく神引きした！

そしてこの時に私はこう言ってしまった。

「もしかしたらWで沼るかもしれない」と。え？Wガチャの結果？悲惨だったよ。詳しくは動画見てね。

「妹：ムカムカ」

私が先にピックアップキャラが全部出たことに妹さんがご機嫌斜めになるが、妹がシヤマレ出るまで引くことになった。

なかなかシヤマレが出ないことに妹は沼った・・・と呟き、溜息をつきながらガチャを回すと星5が4枚の演出！

しかし、シヤマレが出ず全てすり抜けていく。今日は妹が沼ってるな・・・。

え？ちよつと妹さん？それ私の画面なんですけど・・・。

「ちよつと待つて!?!なんで私の勝手に引いてるの!?!ガチャが青いんですけど！妹の呪いが私に!?!」

「呪詛返しw」

「ご乱心」

「妹さん素晴らしいw」

妹は楽しい！と言いながら次々と私のガチャを回していく。

やめて!?!勝手に引かないで！自分の石がなくなったからといって私の引かないで！

妹は私の石がなくなるまで引いて石がなくなるとチケットにまで手を出し始めた。

「えー!?!もう止めて！私のWが、エリジウムのためにとっておいたチケットがー!!」

「共倒れで草」

「妹さん楽しそう」

そして石もチケットもないなった・・・。

ファイル02

「こんにちはー！ごめんね、ちよつと遅れて！ネコ様が部屋に入っていたんで撤退させてもらいました」

いつも配信中に部屋に入らせる！と部屋の前でよく鳴いているネコ様をなんとか撤退させて配信を開始する。

今日やるのはアズールオーン！2回目のアイドルイベントをまったり周回していきながらの雑談配信だ！

「こんばんわー」

「こんばんにゃー」

「ネコ様の霊圧が・・・消えた!?!」

「結婚式場はここですか?」

「はい、みなさんこんばんわー。あ、結婚式場はここですね。最後の方でやりたいと思います」

指輪が10個以上あるので今日は3人にしようかな。

それよりもネコ様が扉の前で暴れている・・・。どうしよ、ネコ様入れようかな?」

「ネコ様入れたげて」

「バタバタ聞こえるのネコ様か」

「そうなんですよねえ。ネコ様が暴れています。入れてあげたいんだけどこの前、フィギュア倒したりされたんですよね」

ネコ様の知能が最近上がってきてる気がするんだよね。最近、よく悪戯するようになってきたし・・・。

あ、画面にハッシュタグが残ったままだ。消さないで。

「はじめまして。声可愛くて癒されます」

「あ、初見さんいらっしやーい！え、恥ずかしい！声コンプレックスなんだよなあ。あんま可愛くないんだけど・・・。そう言ってもらえると嬉しいです！ありがとうございます!」

たまに自分の動画見直すけど「なんだコイツの声って」思っただけで恥ずかしいんだよな。

コメントをなるべく読んでいきたいけど、どこまで読んだが忘れてしまったな。

コメントでは建造でこれが出た!とか、ピックアップキャラが揃わない等が流れている。え!?ダイドー9人でたの!?

「今なら引ける気がします。建造してきます」

「ここまで沼るとは思わなかった。もう建造はしたくない」

「あ、建造頑張ってください!もう、建造はしたくない……。わかります。そうゆう時ありますよね。私もその時は撤退します」

今回のμ兵装キャラはどれも強いからどれも育てたいんだよね。

「ダイドーがでない……。」

「え、出ない?ダイドーちゃんお願い!私のところに予備ダイドーちゃんいるかな?」

私はドッグを確認してダイドーがいるかを確認し、この娘をリリース(退役)すると届かないかな?と、思った。

「それじゃ、私のダイドーちゃんを放出するんでゲットしてくださいね!これで届くかな?」

ダイドーを退役させて再び周回に戻る。コメントではダイドー届えー!と流れる中、先ほどの方からのコメントが流れてきた。

「あ、ダイドー出た」

「ダイドーおめ」

「すごい!」

「え!?ダイドー出た!?よかったね!おめでとー!」

私のダイドーが届いた!こんな奇跡起こるんだね!

他にもダイドーが出た!という人も出てきてすごい。

「皆さんに届け!ダイドー4人放流してきました」

「ダイドー」捨てないで下さい……。!」

「え!?4人放流!?やさしい!捨てないでくださいって違うよ!他の可愛がってる飼い主に渡したの!」

「ダイドーを配布する先生」

「タシユケントも欲しいです」

「タシユケントかあ。あ、いたな。じゃあタシユケントも放出します

！」

タシユケントも届きますように！右ひざあたりに私のサイン書いておいたんで届いたらわかると思います！なんてね。

そして、タシユケントが来た！ってコメントも流れてきて驚いた！今日の配信はミラクル起こってるね！みんな神引きしてて嬉しい！

まさかの私のキャラを放出するとみんなのところに届くミラクルが何度も起きて奇跡回と呼ぶに相応しい配信になった。

「先生、あなたは神か」

「先生、運営説」

ちがいます！

そんなこんなで1時間立っただんで結婚式しよう！

最初はサンデイエゴ！やっぱお世話になってるからね。

「じゃ、デイエゴちゃんと結婚しまーす！」

結婚画面に移りサンデイエゴの結婚衣装が表示される

「か、かわいいな。ヤバい！この表情良くないですか!?!ヤバいかわいい！ギャグ要因だけどデイエゴかわいいな！」

結婚して浮かれてるのかアホかわいい結婚ボイスだな。

次はミネアポリス。コメントでは浮気、浮気言われてるが気にしない！

「ヤバっ、エロっ！これ結婚衣装じゃなくて下着だよ！一瞬履いてないかと思ったよ！」

さて、二人との結婚が終わったところで衣装チェックしていきましよう！

ミネアポリス

「見てくださいノーブラですよ。エチエチですよ！下は・・・履いてるか。でも、パンツだよ。私ガーター好きなんだよね。それにストッキングのレース！いいよね！あ、床反射しててもうちよつとしたら見えそう！ほら！なんか見えそうじゃない!?後、ブルーのグラデが入ってるのがポイント高い。筋肉が引き締まっっていていいボディですね。褐色だから白色が映えるね！」

次デイエゴ

「可愛くないですか！靴の波紋？がハートにますね。後、靴下のレースが可愛い！スカートに白色のお花柄がついておしやれですよね！デザイン凝ってますね。あ、意外とお胸ある。チョーカーも赤のワンポイントあって可愛いですね。ツインテのバラのリボン可愛くない!?デイエゴに合ったポップな衣装でいいですよね！」

衣装チェックで暴走する先生。かわいいだろ？